

## グループ各社が取り組むさまざまな環境アクション

グループ各社では、それぞれの事業特性を活かした多彩な環境保護活動に取り組んでいます。

### バイオディーゼルのバスが走る

#### ジェイアールバス関東(株)

ジェイアールバス関東(株)では、ジェイアール東日本コンサルタンツ(株)と共同でJR東日本グループのホテルから排出された廃食用油を原料としたバイオディーゼル燃料の実証実験を、福島県白河市の循環バスを使用して行いました。

バイオディーゼル燃料とは、一般的には菜種油・廃食用油等の油脂を化学処理してディーゼル自動車用の燃料とした次世代燃料。これまでの化石燃料と比較して、①CO<sub>2</sub>の削減、②黒鉛を約3分の1に軽減、③硫黄酸化物(SO<sub>x</sub>)を限りなくゼロにできる、④軽油と同等の燃費の走行性、⑤アイドリングが安定するためエンジンが静かになる、などの環境効果が期待されるクリーンエネルギーです。

今後もJR東日本グループ一体となった地球環境保護への取り組みを、より一層推進していきます。



バイオディーゼル試験車両

### 蛍光灯を半減した明るい看板

#### (株)JR東日本リテールネット

(株)JR東日本リテールネットでは、NEW DAYS、KIOSKの店舗の電照式看板の内部に反射板を取り付けることで、看板の明るさを向上させながら蛍光灯の本数をほぼ半減することができました。2007年度での蛍光灯の削減数は2,700本で、これにより年間でCO<sub>2</sub>排出量を約176トン削減することに成功しました。今後も継続的に取り付け工事を行い2008年度までに計5,310本、345トンのCO<sub>2</sub>削減をめざします。

また、NEW DAYSではSuicaエコバックキャンペーンを継続的にを行い、エコバックの利用促進と積極的な環境保護の取り組みを行いました。

身の回りを振り返り、自らができることを真剣に考え行動することで、着実にエコ活動を進めています。



#### NEW DAYS品川の施工例

施工前 蛍光灯40W50本、蛍光灯20W12本を使用し、電力は2240W

施工後 蛍光灯40W31本、蛍光灯20W4本へ削減したことにより、電力が1320Wに削減されたほか、反射板取付により光を均一に照らすことが可能となりました

## 主なグループ会社の数値目標(2008年度)

### (株)ルミネ

- ・照明電力量0.71%削減(2005年度比)
- ・空調用電力量1.01%削減(2005年度比)
- ・一般廃棄物0.96%削減(2005年度比)
- ・ガス使用量4.11%削減(2005年度比)
- ・102回の環境美化活動

### ジェイアール東日本フードビジネス(株)

- ・食品リサイクル率を24%に向上(2010年度目標)
- ・割り箸(年間約1,250万膳)をエコ箸に切り替え、年間CO<sub>2</sub>を約113t削減(2007年度比)

### 盛岡ターミナルビル(株)

- ・走行用油類のCO<sub>2</sub>排出量40%削減(2007年度比)
- ・一般廃棄物の排出量10%削減(2007年度比)
- ・一般廃棄物のリサイクル率25%以上

### (株)トッキー

- ・「CoCoLo長岡」において電気・ガス等のエネルギー24.4%削減、CO<sub>2</sub>排出量27%削減(2001~2003年度の平均比)
- ・会社全体において一般廃棄物のリサイクル率43%(2010年度目標)

(注)グループ各社が設定した目標をそのまま掲載しています

(注)グループ各社が設定した目標については、2008年度を達成年度とする目標ですが、一部の会社では、2009年度以降を達成年度とする目標を設定している会社もあります

(注)グループ会社すべての数値目標はホームページに掲載しています

## 分別不要の複合型ゴミ処理機

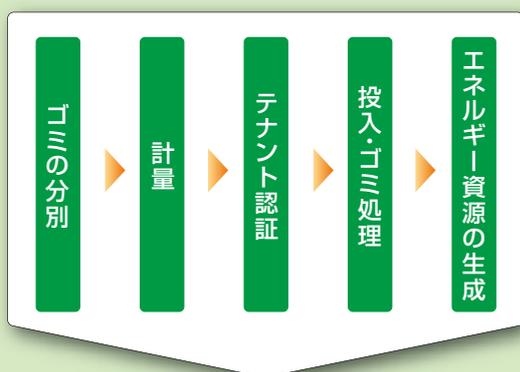
### (株)ジェイアール東日本都市開発

(株)ジェイアール東日本都市開発では、2004年からバイオ式複合型ゴミ処理機を市川ショッピングセンターで約2年間テストを行ってきました。その結果を踏まえ改良を加えて2008年4月より、「赤羽ショッピングセンター」にて実用運転をスタートしました。

このバイオ式複合型ゴミ処理機は、生ゴミや廃プラスチック、ビニール、紙、箸などを一括で処理でき、処理後の容積を15%にまで縮小しています。また、匂いがほとんどない、低温処理のため安全性が高い、省スペースであるなどの優れた利点を持ち合わせています。

生成物が補助燃料などのエネルギー資源として活用され、一般廃棄物のリサイクル率向上やCO<sub>2</sub>削減などの地球環境問題への問題解決に大きく貢献できるものとなっています。

#### ■バイオ式複合型ゴミ処理機作業フロー



- ・施設内でゴミをエネルギー資源にできます。
- ・IDカードでテナント認証を行うことでテナント毎にゴミの排出情報をデータ化できます。

## 建物をトータルで省エネ化

### ジェイアール東日本ビルテック(株)

ジェイアール東日本ビルテック(株)では、ビル等のエネルギー使用状況を診断し、省エネ施策を提案するエネルギーマネジメント事業と施工、成果保証をトータルに実施するESCO(Energy Service Company)事業を推進しています。たとえば、地下水利用や熱源改修あるいは照明や機器を省エネルギータイプに交換することによって建物の省エネルギー化・水道光熱費の低減をはかる等々です。

2007年度に手がけたESCO事業による成果は、駅・駅ビル・病院などのCO<sub>2</sub>排出削減4,326トン(東京ドーム約165個分の広さの森林が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>の量に相当)、上水節減量326,700m<sup>3</sup>(一般家庭約1,400世帯が1年間に使用する上水量に相当)となりました。

今後も地球環境保護のため、省エネルギーに関する提案、施工、技術開発等を推進していきます。



LED照明(BT-OWL) 開発中/  
省電力(蛍光灯の約1/2)、長寿命(蛍光灯の約7倍)、無公害(水銀レス)



トイレ用節水器具(BT-Crab) / トイレ洗浄水を約1/2に節減